

平成 25 年1月 8 日 00100 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニューズレター年頭の御挨拶



特定非営利活動法人 北見市武道振興協会副理事長 鎌口幹雄

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様並びに関係機関各位より昨年中に賜りましたご協力に対しまして心からお礼申し上げます。さて平成25年は、我々の悲願であります武道館が完成する年であります。平成6年に武道8団体が結束し北見市武道振興協議会が設立され約20年が経過しました。その間の皆様の絶え間ないご努力とご理解ご支援の賜物とあらためて感謝申し上げます。その武道館を効率良く利用する方法を検討してゆくのも私たちの大きな責務だと思えます。一昨年 NPO 法人として認証を受けました北見市武道振興協会が中心となり、武道の振興事業も含め考えてゆかなければなりません。会員各位の一層のご理解、ご協力をお願い致します。この一年が皆様ことりまして、素晴らしい年になりますようご祈念申し上げ御挨拶いたします。



特定非営利活動法人 北見市武道振興協会 理事 高山節子

明けましておめでとうございます。本年、長年待望してまいりました武道館が、武道八団体をはじめ関係機関団体のご努力ご協力によりまして落成する運びとなりましたこと、嬉しく心から感謝しております。今後、新しい武道館を拠点に各団体の活動がより一層活発となり、武道を志す人が増えてくるものと思っております。会員育成・指導のため微力ではありますがお手伝いをするのと同時に、新しい武道館に恥じないよう修練に努めて参りたいと思っております。



特定非営利活動法人 北見市武道振興協会 理事 橋本誠司

謹んで年頭のお喜びを申し上げます。会員の皆様には、この他健やかに新年を迎えられましたことと存じます。昨年におきましては、長年要望しておりました武道館建設の施工も始まり、本格建設工事が進んでいる本年となっております。私ども北見空手協会会員一同も年明けとともに、力強く始動をして参ります。本年は、より一層の「気力」「体力」の向上に務め、日常生活に活かせる取り組みを目的として稽古で汗を流し、励んで参ります。本年もよろしくお願 致します。

"北見武道通信100号記念特別企画 連載"

「五輪書(ごりんのしょ)」は「宮本武蔵が六十歳のときに、熊本の洞窟(霊巖洞)にこもって書き残した。」とされているものです。「五輪書」は、いまなお光を放ち、兵法書の価値を越え、多くの人々の心に響き、人生に大きな影響を及ぼす、不朽のバイブルとして永く親まれ続けています。

この度、北見武道通信 100 号を記念して、宮本武蔵が幾多の真剣勝負の戦いの末に究極の境地を書きしるした「五輪書」を 16 回に亘りお伝えしたいと思います。

なお、紙面の関係上、原文は割愛し現代語訳された「五輪書」をご案内いたします。また、この度の編集には文献・中経出版発行・細谷正充(ほそやまさみつ) 著書「宮本武蔵の『五輪書』が面白いほどわかる本」講談社発行・津本陽著書「武蔵と五輪書」、HP:宮本武蔵に関する総合的研究サイト掲載内容をもとに掲載させていただ

ています。㊦ 宮本武蔵肖像(財・島田美術館蔵)筆者不詳 江戸時代㊦ 巖流島の決闘 巖流島に建つ銅像- 山口県下関市

来週の連載「五輪書」は「一地之巻冒頭より」をお伝えします。

来週の連載「五輪書」は「一地之巻冒頭より」をお伝えします。

